

京都学研

味ひとすじむら ひし月

新京極四茶上・でんわ 221-2412

この日は下に掲載
5時以上
5時未満
一時々
のち
数字(上)最高気温
(下)最低気温
丸囲みは降水確率
白又はキは50%以上
白又はキは正午の風向き
天印なしは無風

26日(金)	35 23	27日(土)	34 26	28日(日)	31 24	29日(月)	29 23
26日(金)	35 23	27日(土)	34 24	28日(日)	31 22	29日(月)	29 21

笠置町に株式会社

地域活性化へ官民が出資

府内で最も人口が少くない笠置町で、地元住民らも出資した「笠置まちづくり株式会社」が設立された。減少する観光客を呼び戻し、閉店した駅前商店街店舗の再活用などに取り組み官民共同の組織。19日の創立総会で代表取締役就任した西村典夫町長は「人口減少に歯止めがかかる元気な事業体になりたい」としている。

7月末現在の人口は1443人。ピーク時の1947年(3344人)から減少の一途をたどり、30年後には600人台になると予測されている。少子高齢化の課題は深刻で、地域を活性化させるた

め、約1年前から各種事業を束ねる組織の創設が検討されてきた。会社の出資金は220万円。町が50万円、町商工会と一般社団法人「観光笠置」が各20万円、ほかに個人・団体が各10万円を出資した。創立総会で取締役6人が選ばれ、うち西村町長ら3人(女性2人)が代表取締役就任した。会社は当面役場に置かれ、将来はJR笠置駅舎などに置く予定。

今年30日には出資者が実働組織の事業部を設立。笠置駅舎を新たな観光拠点に模様替えする案や駅前商店街の空き店舗活用、特産品の開発などの事業案が



笠置山(左上) や木津川(左下) に囲まれた笠置町

長は「町の創生は待たなしの状況。町と住民、団体が共同で取り組む事業を速やかに実行し、早く目に見えるものになりたい」と話した。【桑田潔】

子育て包括支援を推進

南区 サポートセンター開所
府は22日、府内の市町村による「子育て世帯包括支援センター」

花火1000発に思い交

3年前の花火大会で露店主が爆発事故を引き起こし58人が死傷した福知山市の由良川河川敷で21日夜、市内のNPO法人が花火約1000発を12分間にわたって打ち上げた。いまだ事故の傷が癒えない被害者や打ち上げに困惑する家族がいる一方で、花火を待ち望んでいた市民もいた。NPO幹部は「来年もするかどうかは白紙。打ち上げに賛否があることは分かっている。それぞれが評価してほしい」と話した。

「感情置き去り」
「感情置き去り」
「感情置き去り」

福知山、3年ぶり

打ち上げは、地域振興などを目的に会社経営者が今年4月に発足させたNPO法人「E grows(イーグロウズ)」が準備を進めてきた。開始の午後8時、河川敷周辺には約2500人(福知山署調べ)が見物に集まった。次々と上げられる花火に、6歳の長女を訪れた市内の女性(38)は「娘が物心つく前から福知山で花火は上がって

「地域振興に」市内NPO

雑踏での事故も心が、周辺で大きな混雑たよった。NPOは場所の同市猪崎の由良川敷を立ち入り禁止して、警備員46人と、アの19人を周辺に配置は警員や機動隊員動させて警備にあた



「校庭に東風吹いて」映